

学び舎に別れ

誇りと愛いつまでも

地域の思い出を詰め込んだ芦沢小学校、緑小学校、瀬川小学校、要田小学校の閉校式が3月末、行われました。
各校はその役目を終え、長い歴史の幕を閉じました。
地域のよりどころ、文化の拠点として歴史を刻んできた各校の閉校式の様子をお知らせします。



瀬川小学校 Segawa

interview

地域代表 学校用務員 かの 菅野 トヨさん



明 治、大正、昭和、平成、令和と続いた瀬川小学校が閉校しました。我が家も四代にわたり、学校にお世話になりました。いろんな思い出のある場所です。子どもたちの姿が消えてしまうことはとても寂しいことですが、毎年春になると校庭の桜が春を迎えてくれます。今年もきれいな花を咲かせてくれることでしょうか。桜さん、これからもよろしくお願いします。



芦沢小学校 Ashizawa

interview

地域代表 船引中学校3年 おおやま るか 大山 琉叶さん



芦 沢小学校は人数が少ない分、たくさんの経験ができる学校でした。思い出あふれる学校が閉校してしまうのは悲しいですが、芦沢小学校で学んだことをいろいろな事に生かしていきたいです。



要田小学校 Kanameta

interview

地域代表 田村警察署要田駐在所 まえだ あきふみ 前田 諒郁さん



要 田小学校の先生並びに児童の皆さんと多くの関わりを持たせていただいたこと感謝しております。元気な声が聞こえなくなるのは残念ですが、皆さんのこれからのご活躍を期待しております。



緑小学校 Midori

interview

地域代表 前緑小学校PTA会長 おなかた しゅうじ 宗像 祝治さん



移 地区から小学校がなくなることは、地域にとっても大変残念なことではありますが、子どもたちに対する願いや思いは、今後も引き継がれる事と思います。今まで以上に、子どもたちの成長、活躍を願うものであります。